

2026.5.27

無料ウェビナ

**SDV時代：  
日本の戦略と産業の未来**  
～経済産業省×リョーサン菱洋が  
読み解く、モビリティDX  
最新状況～

5.27  
11:00-12:00



## 今後の事業戦略や技術開発のヒントにお役立て下さい。

近年、モビリティDXの進展により、自動車業界の競争軸は、従来の製品性能そのものから、データをいかに連携し、活用し、エコシステムへ組み込むかへと大きく移行しています。特にSDV(Software Defined Vehicle)は、新たな機能や価値を社会にもたらし始めており、その開発スピードは企業の競争力を左右する重要な要素となっています。

本ウェビナでは、『モビリティDX戦略とは』『デジタルエコシステムとは』何か？等、SDV時代に日本が目指す方向性、推進戦略、そしてその先に描く産業の未来像について、経済産業省とリョーサン菱洋が多角的な視点から読み解きます。

### 1. 経済産業省は、なぜ今「モビリティDX」に取り組むのか

▼ポイント：社会課題と産業競争から見た問題意識

カーボンニュートラル、人口減少、物流問題、GX×DXの世界的大競争

### 2. モビリティDX戦略の全体像と2025アップデート

▼ポイント：国が描くシナリオとロードマップ

モビリティDX戦略の狙いと構造とは？2030/2035の目標像、2025戦略アップデートのポイント

### 3. 日本成長戦略について

▼ポイント：高市総理の発言が示す“危機管理投資”とは

高市総理による成長戦略発言の要点、官民投資ロードマップについて

### 4. SDVとは何か

▼ポイント：技術説明ではなく「意味」を理解する

SDVの基本的な考え方、OTAによる価値の変化、SDVによって実現される価値

### 5. 自動運転における国内外の動向について

▼ポイント：海外と日本の動きが交差する現場

Waymo/Baidu/Tesla/Wayve等の海外動向

日本での実証・社会実装の進展、海外企業×日本OEMの連携事例  
E2E自動運転と安全性評価の取組み

### 6. デジタルエコシステムとは

▼ポイント：我が国産業の国際競争力強化と「強い経済の実現」に向けて

デジタルエコシステムの全体像、AIサプライチェーンの考え方  
マルチモーダル基盤モデル、AI-Ready化、AIロボティクスの展望

### 7. SDV時代の産業競争力と基盤づくり

▼ポイント：開発スピード、データ、半導体

海外OEMの開発スピードと日本の課題、SDV時代の開発プロセス変革  
自動車・蓄電池業界横断のデータ連携、車載用半導体データプラットフォームの狙い

### 8. 半導体メーカーの取り組み

▼ポイント：ルネサスエレクトロニクス社 R-CarGen5&「R-Car Open Access (RoX) SDV Platform」

RoX AI Studio

開発サイクルの高速化、予期しないトラブルの削減、AIモデルの学習から車載対応のHIL検証までをシームレスに繋ぐ事が可能に！

RoX Whitebox

Linux/Android/XENハイパーバイザ等の組合せと、AUTOSAR, EB corbos Linux QNX, Red Hat, SafeRTOS等、パートナーのOSやソフトウェアも利用可能に！

#### ■ 本日の登壇者 ■

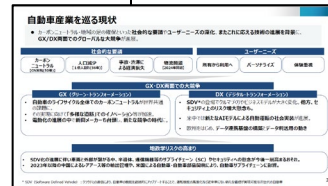


経済産業省  
製造産業局 自動車課  
モビリティDX室 係長  
牧野 皓陽 氏



リョーサン菱洋株式会社  
デバイス技術第一部  
上滝 聡

1. 経済産業省は、なぜ今「モビリティDX」に取り組むのか



詳細は、アンケート回答でDL可能な配布資料をご参照ください。

[他記事、ウェビナ情報はこちら](#)



エンジニアによりそマガジンサイト

[エンジニアによりそマガジンサイトはこちら](#)



お問い合わせはこちらへお願いします。